

CASES 事例紹介

高品質なAR体験をXR CHANNELで

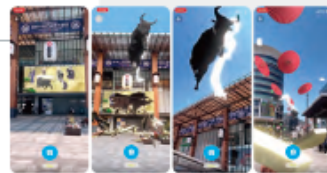


「新宿ナゾキウォーク&XR謎解き1&2」

新宿駅近くの5つのスポットを巡りながら謎を解く、謎解きイベントで、本アプリを通じて、街並みに現れる様々なコンテンツを見ながら進める「XR謎解き」を実施しました。「XR CHANNEL」でスマートフォンをかざすことにより、ARで浮かび上がる内容を見ながらゲームキットの謎を解いていくといった新しい体験をお楽しみいただきました。

「旅する北信濃〜牛(スマホ)にひかれて善光寺御開帳〜」

七年に一度の善光寺御開帳に合わせて2022年4月に実施した「旅する北信濃・AR体験」は、長野駅から善光寺周辺の対象エリアにて観光スポットや対象店舗の情報をARコンテンツとして取得できる観光用ARコンテンツです。特に、長野駅善光寺口の駅前広場で見ることのできる「空願ける牛」は、高度なXR技術と繊細かつ大胆な3DCG表現で、大迫力のコンテンツとなりました。



「GINZA MITSUKOSHI XR CHRISTMAS 2022」

クリスマスツリーの点灯式が世界各地で開催される中、「銀座」の真ん中でも、その点灯の瞬間の高揚感を「いつでも自分のタイミングで」味わえるコンテンツです。最先端のAR技術によって、銀座の街を彩る「プレミアム点灯式」をお楽しみいただきました。

「鉄道AR祭!〜「シンカリオンZ」と「むかしの車両」を体感しよう〜」

鉄道博物館にて、外装や大きさ・ディテールが再現された115系(湘南色・新潟色)とEF64形電気機関車のAR車両、シンカリオンZのキャラクターたちが鉄道にAR・XR技術がどのように使われるかをわかりやすく紹介するコンテンツ。実物大(全高26.5m)の「シンカリオンZ E5ヤマノテ」のAR体験をお楽しみいただきました。



コラボプロジェクト シンカリオンZ 鉄道博物館/新幹線車両研究センター

ビジネスパートナー募集中

パートナー企業様が、販促などを目的として、「XR CHANNEL」にコンテンツを入稿することができます。これにより、パートナー企業様のお客さまに対して、先進的なAR体験を通じたプロモーションが可能となります。SoVeCでは、コンテンツの制作から提供までをサポートします。詳しくは右記よりお問い合わせください。

SoVeC株式会社
お問い合わせ窓口: info@sovec.net
<https://www.sovec.net/>

XR CHANNEL

空間がキャンパス、スマホで描く未来体験



— リアルとデジタルを融合させるロケーションベースARアプリ —



XR CHANNEL
-3DマップAR-



「XR CHANNEL」とは

従来のARとの違い

リアルとデジタルを融合させた新たなユーザー体験を

「XR CHANNEL」は、SoVeCが開発した、VPS (Visual Positioning System) 技術を活用した国内初の3DマップARアプリです。スマホのカメラ画像から位置情報を認識するVPS技術で、空間の奥行きを活かした臨場感のあるARコンテンツを表示します。

POINT 1

立体の建物の形状を認識できるため、臨場感あふれる演出ができる

POINT 2

特定の位置・建物に関する情報を掘り下げてみる事ができる

POINT 3

特定のマーカーを必要としない。スマホをかざせばAR体験

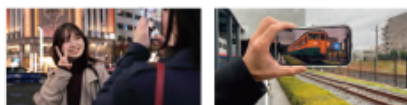
最大の長は、圧倒的な高精度位置認識を使って表現される新しい拡張現実体験。ソニーのVPS技術を活用することで、ARコンテンツが現実世界に融け込んだ、あっと驚くユーザー体験を提供することができます。イベントでの活用・施設集客・広告宣伝・IP活用・地域振興等に是非活用ください。

PLANS ご活用プラン

お客様のご要望やご予算に合わせて、最適なプランをご提案します。

オリジナルXRイベント

XRイベントを企画制作



お客様のニーズをヒアリングし「XR CHANNEL」で行うXRイベントを一から企画制作します。お手持ちのアプリを活用したコンテンツ制作も可能です。

GINZA XR Media

三越銀座店の銀座シャンデリアに拡張現実上で配信 最先端のデジタルOOH

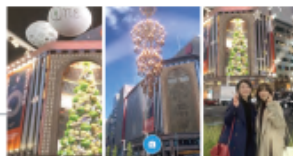


PLAN 01 Virtual GINZA Mitsukoshi

標準仕様のテンプレート。あらかじめ設定された広告面に静止画・動画を組み込むプラン。

PLAN 02 Original Contents

背景を含めてオリジナルの拡張現実空間を制作するプラン。



XRスタンプラリー

複数箇所を巡るXRイベント 手軽に開催! 最新デジタルスタンプラリー



ARコンテンツ体験と、デジタルスタンプラリーを組み合わせたイベントをご提案します。

デジタルツイン技術協力

貴社開発のARアプリへの デジタルツイン技術(VPS等)でのご協力も可能です



Example

TOKYO NODE
Explorer



詳しくはお問い合わせください。

FLOW 導入の流れ

アプリ制作は不要。最短7週間~イベント開催が可能です。

STEP 01



実施場所の選定

XR施策を実施するロケーションを決定します。先進的な演出のために必要な場合はスポットごとに認識マップを制作します。

STEP 02



コンテンツの企画/制作

スポットの特性やご予算に最適なコンテンツを企画・制作いたします。

STEP 03



XRイベント実施

XR CHANNELアプリ内でコンテンツを配信。アプリ制作不要なのでコストを抑えることが可能です。